



8号

総会特集号

2009年

10月17日

親子ネット第1回 総会

親子ネット会員の皆様、初めまして。河邑です。8月に開催された第一回総会で、正式に2009年度の親子ネット代表の大役を仰せつかりました。この原稿と大学の雑誌論文の締切が重なり悪戦苦闘していたところ、深夜から未明にかけて、『引き離し』編集長の矢のような催促を受け、ようやく筆をとったところです（ちなみに、私は社会学者で商学博士、中央大学の準教授をしています。専門は技術と歴史の経済学、世界中の工場や博物館を実見調査して研究をしています）。

思い起こせば昨年7月、親子ネットの発足集会に単身で参加したのが、私と親子ネットとの出会いでした。2年間のアメリカ生活から帰国し、そのとき既に引き離され歴1年半になっていました。

その日、講師として招かれていた法学者の棚瀬孝雄先生には弁護士として代理人をお願いし、福田雅章先生には次回国会勉強会の講師をお願いし、たまたまお隣に座った藤田さんや、集会後のデモ行進で話をしたコリン・ジョーンズさんとは、今年度の親子ネットの運営委員をご一緒することになりました。

人生とは本当に解らないものです。発足集会に参加してからほぼ1年後、突然の嵐のような前代表と数名の役員との退会の後、ふと気づけば、私が親子ネットの代表になっていました。アメリカで2ヶ月間の引きこもりと長期に渡る鬱状態を経験してきた私が、多くの皆さんに支えられて、今や引き離し問題解決への社会的構造的な展望を語り、国会議員向け勉強会を主催し、棚瀬先生と共に新しい法律の作成を開始し、法律制定のための一大事業として「立法事実プロジェクト」を提案するまでになったのですから。

「マクロ的な問題解決のために運動することは、それ自体、癒しとしての効果がある。」これは、今回の総会で副代表に就任して頂いた、日本最大の会えない親の自助グループ創設者である、須田さんと意見が一致した点です。ミクロレベルの個人的な問題解決を模索する自助グループ活動と、マクロレベルの社会的な問題解決を展望する当事者運動とは、個人的にも社会的にも車の両輪であり、相互に前提し合う関係にあります。内外の客観的情勢が、離婚後の親子問題の解決に向けて成熟しつつある中、日本最大の当事者運動の担い手としての親子ネットの存在は、国際ネットワークも視野に入れた世論形成の主体として、ますます重要になっています。

そのような会に相応しい規約と、新年度の方針に向けて集まった役員が、会員総数の過半数に迫る会員の委任を含む出席によって、正式に成立した総会により承認されたことは、離婚・別居後も自然な親子の絆を育むことのできる社会の実現へ向けた、大きな力になるでしょう。来年の第二回総会まで、今回ご紹介する素敵な新役員の間たちと、焦らず弛まず、長期的な展望を見据えて、この重責を果たせるよう力を尽くしたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

(河邑 肇)

親子の面会交流を実現する全国ネットワーク

〒270-0027 千葉県松戸市二ツ木95
スタジオZ

TEL&FAX 047-342-8287

e-mail: oyakonet@mail.goo.ne.jp

年会費 2000円

郵便振替

加入者名



第12回共同親権と子どもの養育を考える勉強会

日時 10月13日(火) 15:00~16:30

会場 衆議院第2議員会館第1会議室

講演「子どもの権利としての面接交流権」

講師 福田 雅章 (一橋大学名誉教授)

参加費 1000円 事前に申し込みが必要です

2009 年度 新運営委員 紹介

副代表:須田桂吾/児童養護施設で心理・家庭支援を担当しています。臨床心理士です。社会的養護の現場に身を置く利点も活かしつつ、今後とも、親子の引き離し問題については、真剣に向き合っていくつもりです。この問題は、なかなか一筋縄ではいかないので、やはり地道に進めていくことが結局は近道だと思います。私自身も、無理なく着実に進んで行きたいと思っています。子どものことを第一に考え、皆で一つ一つ現実的な解決を実現していきましょう。

情報・国会担当:川口定男/今年度の運営委員を担当することになりました。親子ネットの最大目標は、『親子の引き離し状況をつくりだしている現在の矛盾に満ちた日本の法システムの改善』と考えます。このため、親子ネット自体のいろいろな面でのより一層のレベルアップがまず必要と思っています。このような内的側面と法システム改善のために必要な外的側面の向上に努めたいと思っています。

国内ネットワーク・編集担当:辻くにやす/出版&ネットワーク担当の辻です。趣味は車&バイクいじりです。会報「引き離し」は、スタジオZの中古コピー機を毎回だましだまし駆使しながら発行されています。親子ネットは現在、関東の他に長野、関西、広島に誕生しています。近い内に、四国、九州の地にも誕生する事でしょう。僕の夢は、親子ネットが全国に誕生し、当事者が結集し、そしてその役目を終えたら綺麗に無くなる事です。その時まで、頑張っていきたいと思っています。

海外ネットワーク・メディア担当:明尾麻沙子/最近国際間の連れ去りが問題になっている中で、私のやるべき方向が定まった。日本人でも子供に会えないのに、異国の地で苦しむ外国人の苦悩は計り知れない。そんな外国人のサポートを始めた。世界中からの問い合わせがある。息子を探しにきたスペイン人の父親、十年間行方の知れなかったイギリス人の息子の居場所を探した。これからその父親達が子供に会えるように頑張らなければいけない。前進あるのみ、後ろは振り返らない。最後に正義は勝つ。

女性ネットワーク担当:山口理恵/このたび運営委員になりました山口と申します。女性ネットワーク担当になりました。しかし、私は女性ネットワークを全くと言っていいほど知りません。したがって、コネクションもありませんので皆様のお力添えよろしくお願い致します。未熟者ですがどうかよろしくお願い致します。

法律担当:コリン・P.A.ジョーンズ/法科大学院教員

監査・データベース・名簿管理担当:片哲也/初めまして、今年度より監査担当となりました片(かた)です。二年八カ月の引離しに遭いましたが、今は妻子といつでも会える状態に回復しました。現在は光学機器メーカーの海外マーケティングを担当していますが、前に担当していました社内監査(品質・輸出管理)の経験が活かせればと思います。今は家族のあり方、個人のあり方の大きな変革期にあると思います。皆様とよりよい未来を築いていければと思います。明石焼きが好きです。

財務・組織担当:藤田尚寿/今年度、運営委員を担当することになりました。別居・離婚で子供との交流が断たれてしまう日本の現状は本当に悲惨です。自身の経験からも、何らかの形で転機が訪れない限り、この状況は好転しないと強く感じています。諸外国の歴史をみても、変化を促したのは、「当事者達」です。当事者の団結と、実態報告は大きな力になります。1000人、10000人の当事者団体として発言力が高まるよう、当事者の掘り起こしに知恵を絞っていきたく思います。1年間、よろしく申し上げます。

親子ネット第一回 総会 議題

2009年8月23日(土)15:00～17:00 中央大学後楽園キャンパス

- 1 総会開会挨拶 河邑
- 2 平成20年度活動報告及び総括
 - 国会勉強会
 - 国会請願(請願署名活動)及び結果
 - 地方請願の状況
 - 国連レポート
 - 法制審議会
 - 事例集発行
 - 会報『引き離し』発行
 - 全体会、事務局会状況
 - デモ、合宿等のイベント
 - ホームページ、ブログ
 - 調査委員会・規約案作成・総会開催
 - 全体を通じた活動総括
- 3 平成20年度会計報告(会費改定の必要性説明を含む)
- 4 平成20年度関係事項についての質疑応答及び承認決議
- 5 平成21年度活動方針 前年度活動(2)を踏襲し、また新たな展開として、
 - 立法事実プロジェクト(棚瀬孝雄先生と共同した議員立法作成)
 - 全国ネットワーク・国際ネットワークの強化
 - 自助グループ活動の重視
 - 既存のインターネット窓口のデータベース機能、視覚効果の改善
- 6 平成21年度予算(会費改定案を含む)
- 7 外国人関連活動について
- 8 平成21年度役員
- 9 親子ネットの規約
- 10 平成21年度関係事項及び規約についての質疑応答並びに承認決議

親子の面会交流を実現する全国ネットワーク 会員募集

私たちは、離婚しても離れて暮らす親子が普通に会えるように、共同親権や、面会交流の法制化を求めています。また、交流を絶たれている親子の面会が実現するように、裁判所の運用の改善や、親子面会交流への公的支援を求めて活動しています。双方の親に子どもを養育する権利があり、子どもには双方の親から養育を受ける権利があります。親どうしがいっしょにいても別れても、それは変わりません。

地方議会への陳情や請願、司法や国会への働きかけ、情報交換を行ってきました。いっしょに活動してくれる仲間を募集しています。また、親子の交流を絶たれた当事者に情報提供を行っています。

ホームページやブログを運営していくほか、隔月での会報「引き離し」を発行しています。ぜひネットワークに参加ください。

新年度の会費が決まりました

会員 入会金 500 円 会費 2000 円

賛助員 入会金 500 円 賛助金 1 口 1000 円を 2 口以上

会員は当事者、賛助員は会の活動に賛同していただける方ならどなたでも加入できます。前年度から継続される方は、通信欄に「継続」と記して、2000 円のみを下記郵便振替にお振り込みください。

郵便振替 00100-9-565411

加入者名 親子の面会交流を実現する全国ネットワーク

手帳にメモして！ 『親子ネット関西 講演会』 ～離婚と子どもの最善の利益～

講師：棚瀬一代（神戸親和女子大学発達教育学部教授・臨床心理士）

日時：10月12日（祝） 13：30～15：50 参加費：1500円

場所：ひと・まち交流館京都 第一会議室（京都市下京区木屋町通上ノ口上る梅湊町83-1）

カンパ金大募集！

親子の面会交流を実現する全国ネットワークでは、つねにみなさまからのカンパを募集しております。

編集後記 昨年の今ごろは、別居中の娘と息子の手を握りながら親子ネットのデモに参加していた。

次の日は、親権者になるか会えなくなるか、その親権者変更調停の分かれ道だったけど。あれから1年。今、子どもと共に暮らせている。信頼関係を安定させるのに必死だった。ふっと気が付くと、こうして親子ネットの活動に、少しではあるが参加している自分がいる。ああ、少しは落ちついたんだなあ、と。

今、父親は子どもと会いたがらない。子どもが会いたいと望んでも、月1回しか会わないと拒否する。運動会にも来てくれなかった。引き離す親も会わない親も同じ。子ども目線の欠如。パパもママも大好き！素直にくったくなく笑う娘と息子の笑顔を守りたい。切にそう思う。 (さんか)

〒270-0027

千葉県松戸市二ツ木95 スタジオZ TEL&FAX 047-342-8287

e-mail : oyakonet@mail.goo.ne.jp